

都市基盤分野 政策 4 「持続可能な上下水道サービスの提供」

目指す姿

持続的・安定的に安全な水道水や、下水道サービスが提供されている。

【現状と課題】

- 上下水道は、市民生活や経済活動に欠かせない最も重要なライフラインの一つであり、事故や災害などにより管路や施設が破損、故障した場合、市民生活等に多大な影響を及ぼします。
- 水道事業においては、昭和 4 年（1929 年）に給水を開始して以来、その普及拡大に努めてきた結果、平成 30 年度（2018 年度）末現在の本市給水普及率は 99.6% となっています。
- 人口減少や節水機器の普及により水道水の需要は年々減少し、水道料金収入も減少する一方で、高度経済成長期に整備した水道管や浄水場など水道施設の多くは老朽化が進み、耐震性も不足しているため、今後、多額の改築更新費用が見込まれます。
- 下水道事業においては、昭和 13 年（1938 年）に着手し、積極的に整備を進めてきた結果、計画処理区域のほぼ全域の整備が完了し、平成 30 年度（2018 年度）末現在の本市水洗化率は 97.7% となっています。
- 下水道使用料収入の減少傾向が続く中、本市の公共下水道の管渠延長は中核市の中で最も長く、今後、下水道施設の老朽化が進み、多額の改築更新費用が見込まれます。
- 国では、上下水道事業の持続的な経営の確保などのため、民間活力を活用した PPP 手法の導入拡大や ICT の利活用を推進しています。本市においても水道事業の営業関連事務包括委託や、下水処理場等の維持管理業務への包括的民間委託を導入しています。

※関連データ：一日平均有収水量と給水人口の推移



(資料) 姫路市水道局資料

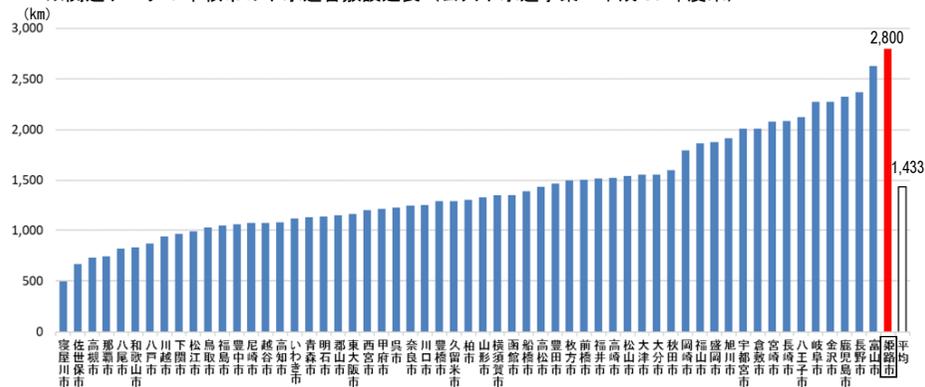
【目指す姿を実現するための方向性】

人 地 域	<b>ア 水道水の供給体制の確保</b> 24 時間いつでも水道水を供給できるよう、官民が連携して施設や管路を維持管理するとともに、専門的な知識や技術力の向上を図ります。
	<b>イ 上下水道事業の経営効率化</b> ○ 上水道事業においては、水需要に応じた管路のダウンサイジングや施設規模の適正化を進めるとともに、民間活力や ICT を利活用するなど、経営のさらなる効率化を進めます。 ○ 下水道事業においては、下水道施設の統廃合を進めるとともに、民間活力や ICT を利活用するなど、経営のさらなる効率化を進めます。
活 力	
土 台	<b>ウ 良質な水道水の提供基盤の強化</b> 水道施設や管路の更新・耐震化を計画的に行うとともに、水源から蛇口に至る統合的な水質管理体制を充実させることで、良質な水道水を提供する基盤を強化します。
	<b>エ 適正な下水処理の推進</b> 老朽化した管渠や処理場など施設の計画的な更新・耐震化を進めます。また、公共下水道の未整備区域の早期解消を図るとともに、下水道処理区域内での水洗化を促進します。

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市 民	➢ 市民生活に欠かせない上下水道を維持していくために、上下水道事業への理解と関心を深めましょう。
地域コミュニティ	➢ 市などと連携して節水や水洗化の啓発活動に取り組みましょう。
企業・団体	➢ 上下水道の事業活動で生じる資源やエネルギーを企業活動に有効活用しましょう。

※関連データ：中核市の下水道管敷設延長（公共下水道事業 平成 30 年度末）



(資料) 姫路市下水道局資料